

小美玉市新まちづくり構想

【たたき台】

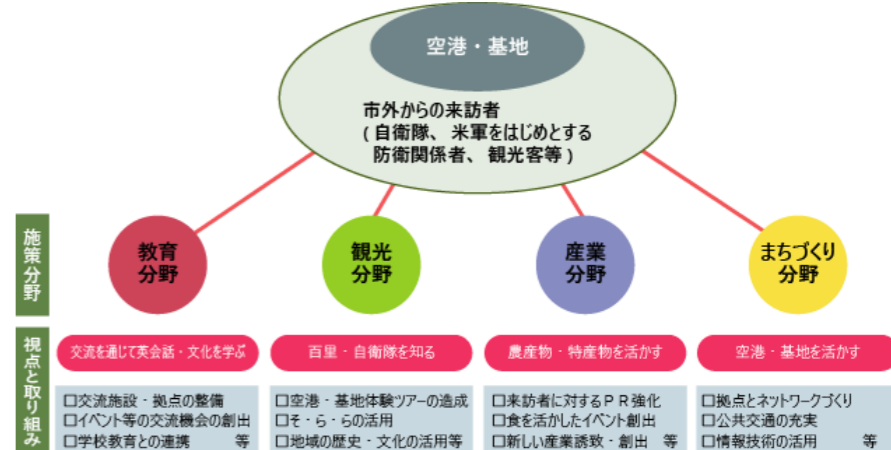
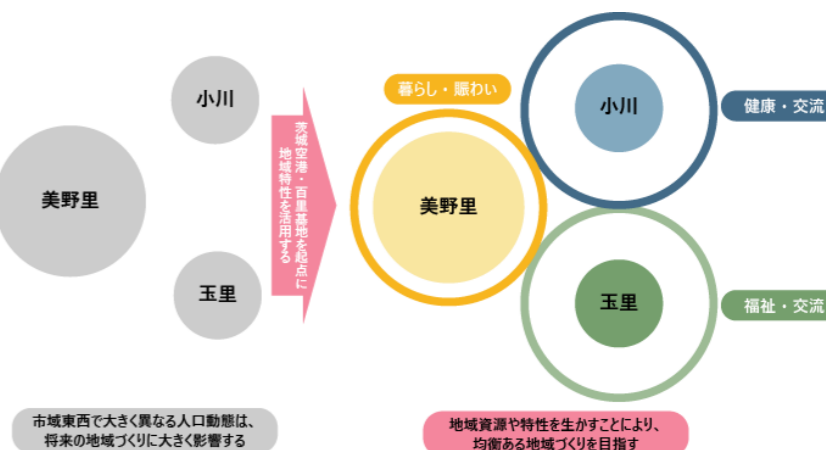
令和5年5月 24 日

1. 小美玉市の現状と課題

まちづくり の課題	1. 小美玉市の課題	
	<input type="checkbox"/> 人口減少・高齢化という潮流に対応できる地域づくり <input type="checkbox"/> 交通網整備に対するビジョンづくり <input type="checkbox"/> 「空」を活用したまちづくり	
	2. 地区の課題	
	地区	地区の課題
小川地区	<input type="checkbox"/> 百里基地と共存できるまちづくり <input type="checkbox"/> 既成市街地の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・旧小川小学校跡地周辺の活用 ・旧小川駅の活用 ・地域の歴史や産業資源のまちづくりへの活用 <input type="checkbox"/> 茨城空港周辺における魅力の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・茨城空港と空のえき「そ・ら・ら」との連携強化 ・空のえき「そ・ら・ら」の拡張（魅力向上） ・茨城空港での公共交通機能の充実 	
美野里地区	<input type="checkbox"/> 人口動向に対応した公共施設や教育施設の適正化の検討 <input type="checkbox"/> 玄関口としての機能強化 <ul style="list-style-type: none"> ・駅隣接市有地の活用 ・公共交通の連携強化 <input type="checkbox"/> 駅を中心とするコンパクトなまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・都市機能の集約 ・人口の誘導 	
玉里地区	<input type="checkbox"/> 霞ヶ浦の水際線を活用したまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・霞ヶ浦の眺望資源の活用 ・つくば霞ヶ浦りんりんロード沿道における交流拠点の創出 	

3. 拠点の現状と課題			
地区	エリア	現状	課題
小川地区	①新交流拠点 (百里飛行場前)	<input type="checkbox"/> 茨城空港及び「そ・ら・ら」の観光客の状況は、コロナ禍の影響で減少したものの近年は持ち直してきている。	<input type="checkbox"/> 百里基地・茨城空港との共生を目指し、空のえきそ・ら・ら拡張計画との連携を図りながら、自衛隊との交流、魅力発信や集客の拠点性を高めるための機能導入が求められます。 <input type="checkbox"/> 茨城空港の利便性を高めるため、公共交通結節機能の充実や宿泊・滞在機能の導入を検討する必要があります。 <input type="checkbox"/> 地域に向けて、安全・安心や利便性を提供する機能の導入を図る必要があります。
	②百里基地周辺国有地	<input type="checkbox"/> 百里基地周辺に国有地が多く分布している。	<input type="checkbox"/> 防衛施設の安定的運用を考慮しつつ、地元利用の検討が期待されます。
	③小美玉温泉ことぶき	<input type="checkbox"/> 施設利用者は概ね市内4割、隣接市町2割、その他4割となっている。	<input type="checkbox"/> 温泉施設を一層の活用を進めるため、施設機能の充実や利用者の拡大を図る必要があります。
	④やすらぎの里小川	<input type="checkbox"/> 見学者は近年3千人前後となっているが、施設の老朽化が見られている。	<input type="checkbox"/> 小川公民館の移転先となっており、公民館機能の充実が期待されます。 <input type="checkbox"/> 宮田防災公園が近接しており、公民館機能との連携による防災機能の充実も期待されます。 <input type="checkbox"/> 特徴ある和風施設の活用に向け、施設老朽化対策（長寿命化）が必要です。
	⑤小川市街地	<input type="checkbox"/> 市街地機能や賑わいの衰退、人口減少が進んでいる。	<input type="checkbox"/> 旧小川小跡地の整備を契機として、小川市街地の活性化や利便性向上を図る必要があります。 <input type="checkbox"/> 市街地内の拠点の連携を確保し、市街地内の利便性を高める必要があります。 <input type="checkbox"/> 暮らしやすい環境を整備するため、適正な土地利用の誘導と均衡ある市街地の形成が期待されます。
	⑥旧小川小跡地周辺	<input type="checkbox"/> 小川小が廃校となり、跡地活用の具体化が求められている。	<input type="checkbox"/> 旧小川小跡地の有効活用が期待されます。 <input type="checkbox"/> 旧小川小跡地活用の効果を市街地活性化に波及させることが期待されます。
美野里地区	⑦新交流拠点 (J R 羽鳥駅前)	<input type="checkbox"/> 美野里公民館の機能代替が検討されている。 <input type="checkbox"/> 駅前立地を生かす多様な機能を持つ拠点形成が提言されている。	<input type="checkbox"/> 駅を中心に、生活支援機能や公共サービス機能など、地域住民が日常づかいできる機能導入が必要です。 <input type="checkbox"/> 本市へのエントランスとして、本市固有の資源（特産品、茨城空港、航空自衛隊等）の発信、交流機能の導入を図る必要があります。
	⑧羽鳥市街地	<input type="checkbox"/> 駅前の拠点地区整備と合わせ、公共施設の適正化が求められている。	<input type="checkbox"/> J R 羽鳥駅前地区の整備を契機として、羽鳥市街地の活性化や利便性向上を図る必要があります。 <input type="checkbox"/> 橋上化やJ R 羽鳥駅前地区の整備に合わせ、公共施設再編への対応、駅東西エリアの融合が必要です。 <input type="checkbox"/> 暮らしやすい環境を整備するため、適正な土地利用の誘導と均衡ある市街地の形成が期待されます。
	⑨新しい拠点	<input type="checkbox"/> 国道6号バイパスの検討が進められている。	<input type="checkbox"/> 新しい南北軸となる国道6号バイパスを生かした拠点形成が期待されます。
玉里地区	⑩玉里市街地	<input type="checkbox"/> 玉里義務教育学校が開設されている。 <input type="checkbox"/> 公益施設の統廃合に伴い、拠点機能の低下が懸念される。	<input type="checkbox"/> 地域の生活を支える地区として、既存の公共施設や教育施設を基本に、生活関連施設の整備を図る必要があります。 <input type="checkbox"/> 公共施設の跡地の利活用などを含め、公園のあり方等について検討する必要があります。
	⑪大井戸湖岸公園	<input type="checkbox"/> キャンプ場や花火大会会場などが計画されている。 <input type="checkbox"/> つくば霞ヶ浦りんりんロードが整備されている。	<input type="checkbox"/> つくば霞ヶ浦りんりんロードとの連携を図りながら、アウトドア拠点としての魅力を高めることが期待されます。 <input type="checkbox"/> 市のイベント会場としての利用や玉里東小学校跡地活用との連携について検討する必要があります。
	⑫権現山公園	<input type="checkbox"/> 利用者はなく、景観もよくな ない。 <input type="checkbox"/> 下草刈程度の管理となっ ている。	<input type="checkbox"/> 生涯学習センターコスモス、しみじみの家などの周辺施設との連携により、霞ヶ浦沿岸の拠点としての魅力を高めることが期待されます。
共通	⑬公共施設適正化	<input type="checkbox"/> 学校規模配置適正化により、廃校となった学校跡地の利活用が求められている。	<input type="checkbox"/> 地域によって人口変化も異なることから、将来の地域のまちづくりの変化と連動した施設再編を検討する必要があります。

2. まちづくり基本構想

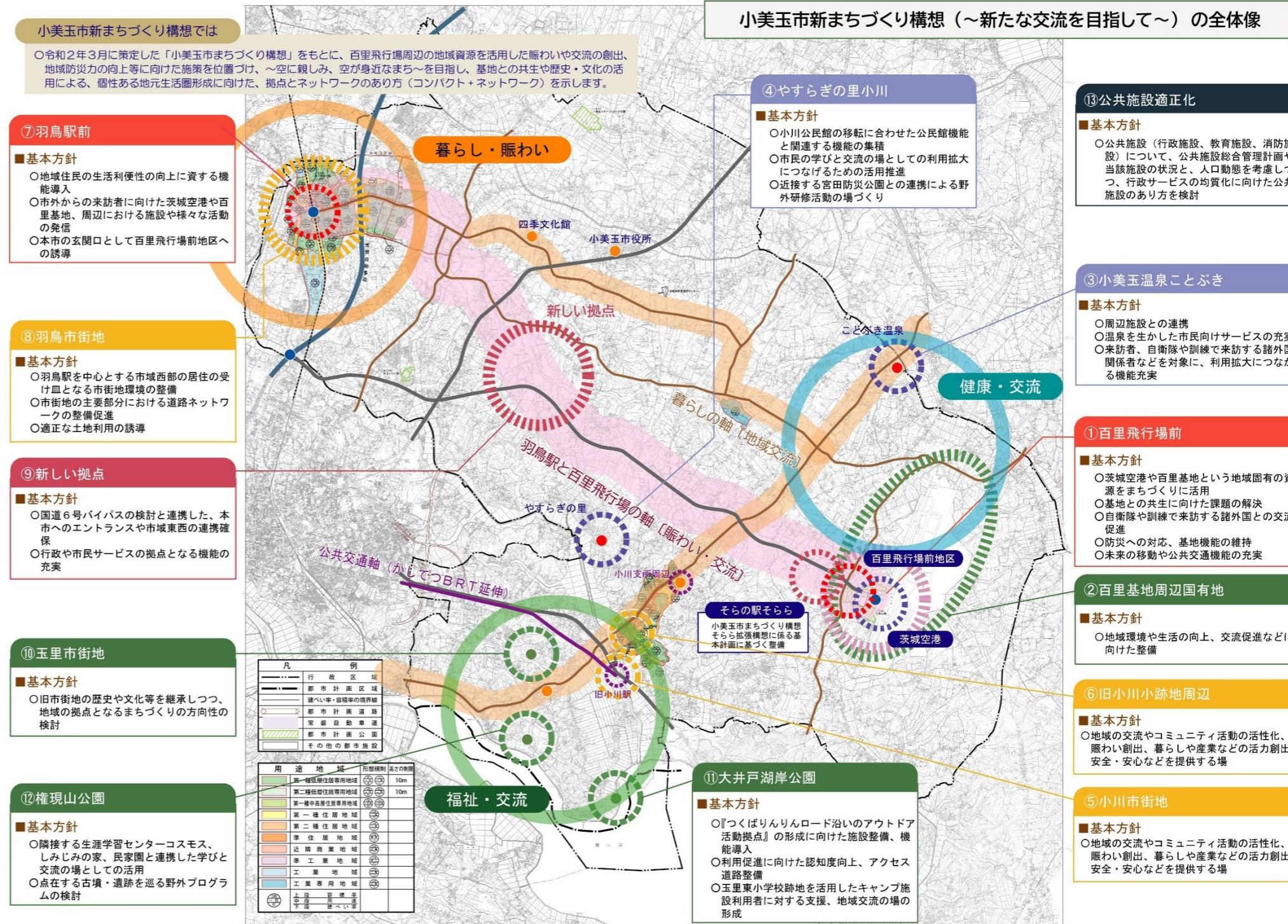
基本理念・基本方針	まちづくりの考え方						
<p>1. 基本理念の設定</p> <p style="text-align: center;">～(仮)空に親しみ、空を身近に感じるまちづくり～</p> <p>令和2年3月に策定した「小美玉市まちづくり構想」をもとに、百里飛行場周辺の地域資源を活用した賑わいや交流の創出、地域防災力の向上等に向けた施策を位置づけ、～空に親しみ、空を身近に感じるまちづくり～を目指し、基地との共生や歴史・文化の活用による、拠点とネットワーク（コンパクト+ネットワーク）によるまちづくりに取り組み、未来に継承できる、個性ある地域生活圏の形成を目指します。</p> <p>2. 基本方針の設定</p> <p>■基本方針－1 百里基地や茨城空港を生かした交流を創出します。</p> <p>百里基地及び茨城空港は、市民をはじめとする多くの人々の往来が期待される施設であることから、市民の交流機会の一層の充実に取り組むとともに、これらへの来訪者に対し、空港周辺や周辺において、交流の場や各種プログラムを充実することにより、新しい交流や来訪・滞在動機の創出を図ることとし、次のような2つの交流の創出を目指します。</p> <p>■基本方針－2 茨城空港とJ R羽鳥駅の拠点化と連携、国道6号バイパス等を契機として、東西域のまちづくりの一体性を創出します。</p> <p>本市では、市域東西で人口動態が大きく異なっており、J R羽鳥駅周辺では人口増加への対応、小川地区や玉里地区では人口減少への対応が必要となっています。</p> <p>そのため、J R羽鳥駅周辺と茨城空港及び空のえきそ・ら・らの連携を強化し、市域東西が一体となったまちづくりを進めるための連携軸を形成します。</p> <p>■基本方針－3 人々の暮らしや活動の場である、市街地や公共施設のアップデートを進めます。</p> <p>人々の暮らしの場である市街地や、各種サービスを提供する公共施設については、多様化するニーズへの対応とともに、持続可能なまちづくりに向け、公共施設等総合管理計画に基づく公共施設の適正化を進める必要があります。そのため、J R羽鳥駅周辺では、駅に隣接する市有地を活用した拠点形成、小川地区では、旧小川小学校跡地周辺での拠点形成を図るとともに、市街地全体として暮らしやすさや個性あるまちづくりによる魅力向上を図ります。</p>	<p>3. まちづくりの進め方</p> <p>○本市の「まちづくり履歴」として、百里基地や茨城空港の経緯をどのように市の施策に繋げるかを示します。</p> <p>○市域東西で人口動態が異なるという課題に対し、地域特性を生かした均衡ある地域づくりを目指します。</p> <p>○国道6号小美玉バイパスといった、これからのまちづくり要素による「可能性」を取り込みます。</p> <p>○このような「まちづくり履歴」や「可能性」の中で活動する地域や市民が、どのように地域づくりへ関わるか（協働）についても示します。</p> <p>◆茨城空港・百里基地を軸にした、本市の施策への展開イメージ</p>  <p>◆均衡ある地域づくりのイメージ</p> <table border="1" data-bbox="1513 1029 1988 1491"> <tr> <td>小川地区</td> <td>○空のえきそ・ら・らを生かした交流をテーマとした地域づくり、小美玉温泉ことぶきを生かした健康づくり。</td> </tr> <tr> <td>美野里地区</td> <td>○J R羽鳥駅前地区での交流拠点整備を契機として、暮らしやすさと賑わい創出をテーマとした地域づくり。</td> </tr> <tr> <td>玉里地区</td> <td>○安心して暮らせる環境づくりの基礎となる福祉や霞ヶ浦を生かした交流をテーマとした地域づくり。</td> </tr> </table>  <p>4. 拠点とネットワークのあり方（拠点連携軸の明確化、国道6号B.P.）</p> <p>百里基地や茨城空港を中心に、～空を身近に感じるまちづくり～を目指し、基地との共生や歴史・文化の活用による、個性ある地元生活圏形成に向けた、拠点とネットワークのあり方（コンパクト + ネットワーク）を示しますが、都市レベルにおいて骨格となる拠点とネットワークのあり方を次のように想定します。</p> <p>①新交流拠点と連絡軸：百里基地・茨城空港周辺と J R 常磐線羽鳥駅周辺を賑わいと交流を実現する新交流拠点と位置づけ、その連絡軸で市域を貫くバックボーンを形成します。</p> <p>②地域の拠点と暮らしの軸：地域の拠点を位置づけ、市民生活を支える機能を整備するとともに、それらを結ぶ暮らしの軸により、地域交流の促進を誘導します。</p>	小川地区	○空のえきそ・ら・らを生かした交流をテーマとした地域づくり、小美玉温泉ことぶきを生かした健康づくり。	美野里地区	○J R羽鳥駅前地区での交流拠点整備を契機として、暮らしやすさと賑わい創出をテーマとした地域づくり。	玉里地区	○安心して暮らせる環境づくりの基礎となる福祉や霞ヶ浦を生かした交流をテーマとした地域づくり。
小川地区	○空のえきそ・ら・らを生かした交流をテーマとした地域づくり、小美玉温泉ことぶきを生かした健康づくり。						
美野里地区	○J R羽鳥駅前地区での交流拠点整備を契機として、暮らしやすさと賑わい創出をテーマとした地域づくり。						
玉里地区	○安心して暮らせる環境づくりの基礎となる福祉や霞ヶ浦を生かした交流をテーマとした地域づくり。						

5. 各拠点の位置づけ

まちづくりの進め方及び拠点とネットワークのあり方を踏まえ、本計画で対象とする拠点等の位置づけを次のように設定します。

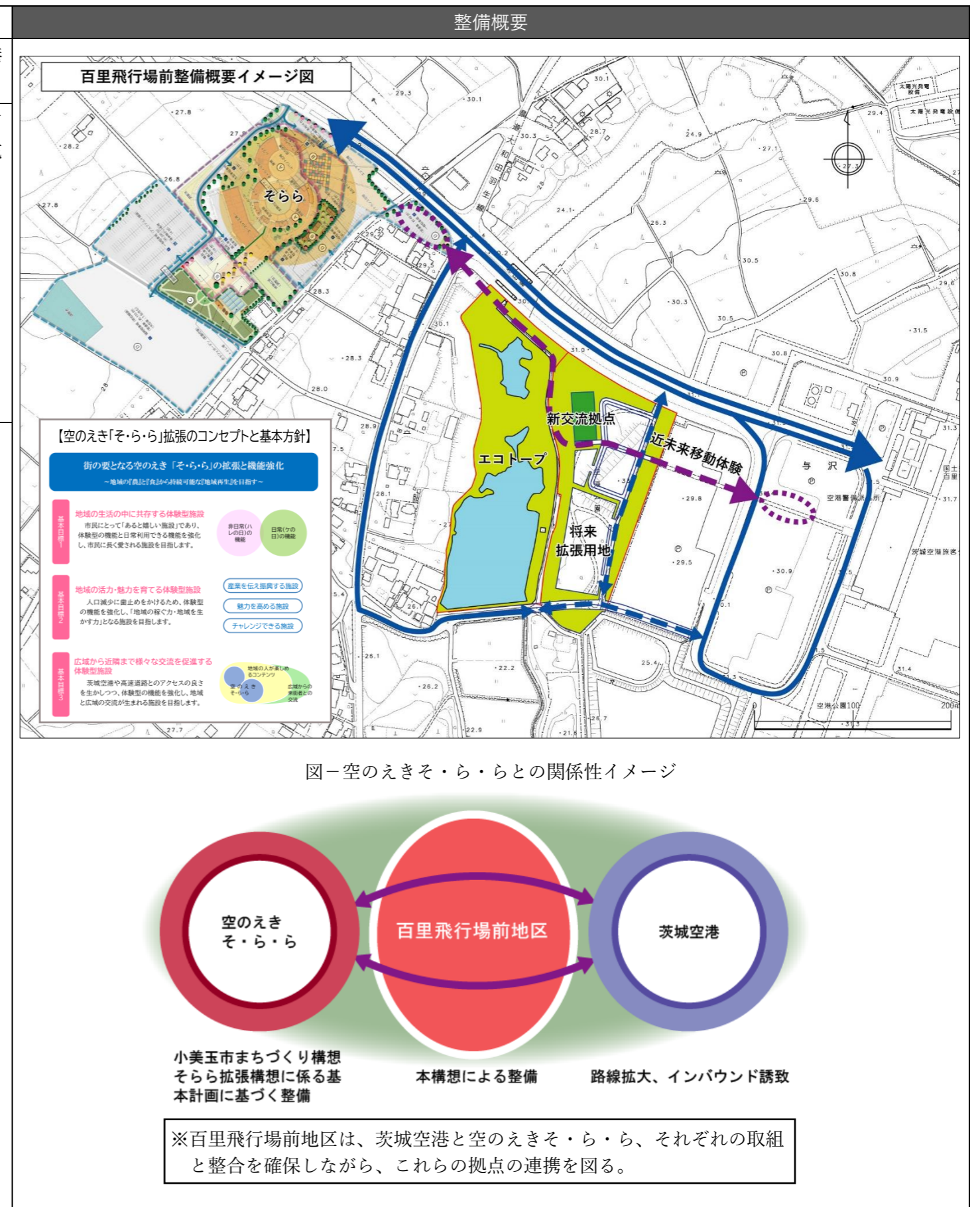
地区	構 想	位置づけ
小川地区	①百里飛行場前	○「空」への理解と多様な交流の動機づけの拠点 (空のえきそ・ら・らの拡張に係る基本計画策定済)
	②百里基地周辺 国有地	○百里基地と地域の調和を促進する拠点
	③小美玉温泉 ことぶき	○周辺施設(上吉影小学校跡地、周辺国有地等)と連携による、来訪者、自衛隊との交流、災害時の活動拠点
	④やすらぎの里小川	○市民の学びと交流の拠点
	⑤小川市街地	○地域文化を継承しつつ、暮らしやすさと新しい要素が融合する市街地
	⑥旧小川小跡地周辺	○小川市街地の活性化をけん引する拠点(基本計画策定済)
美野里地区	⑦J R羽鳥駅前	○茨城空港周辺へのゲート、自衛隊広報支援、市民交流の拠点
	⑧羽鳥市街地	○羽鳥駅を中心として、市域西部の居住の受け皿となる市街地
	⑨新しい拠点	○国道6号小美玉道路(仮称)を生かした拠点形成を目指す
玉里地区	⑩玉里市街地	○公共施設、教育施設の集積を生かした拠点機能の維持と、生活環境の向上を目指すエリア
	⑪大井戸湖岸公園	○つくば霞ヶ浦りんりんロード沿いのアウトドア活動拠点
	⑫権現山公園	○地域の歴史と文化を学ぶ拠点
共通	⑬公共施設適正化	○持続可能な地域づくりを見据えつつ、本市の魅力を高める拠点として活用する資源

6. まちづくり構想の全体像



3. 整備概要

名称	①百里飛行場前																		
現状と課題	茨城空港と空のえきそ・ら・らの間に位置し、北山池といった自然要素もあることから、空港とそ・ら・らの連携を創出するとともに、空港機能を補完する機能導入が期待されます。																		
基本方針	<p>茨城空港や百里基地という地域固有の資源をまちづくりに活用するため、基地との共生に向けた課題を解決しつつ、自衛隊との交流、防災・基地機能の維持、未来の移動や公共交通機能の充実を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 自衛隊を知り楽しむ場 <input type="checkbox"/> 百里基地に関連する交流を誘導し理解を深める場 <input type="checkbox"/> 日本の航空・防衛産業の未来を考える場 <input type="checkbox"/> 近未来の交通を知り体験する場 <input type="checkbox"/> 市民・来訪者の憩いの空間、交流・滞在・宿泊の場 <input type="checkbox"/> 防災の拠点となる場 <input type="checkbox"/> 公共交通の拠点となる場 																		
取り組み	<table border="1"> <thead> <tr> <th>取り組み</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> 自衛隊を知り楽しむ場づくり</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 航空自衛隊を中心とする機材（航空機など）の展示 <input type="checkbox"/> 自衛隊（陸海空）の広報 <input type="checkbox"/> 自衛隊イベントとの連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 百里基地に関連する交流を誘導し理解を深める場づくり</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 航空機騒音の体験と対策の学び（VR・音響シミュレーション体験） <input type="checkbox"/> 諸外国との訓練を機会とする交流（地域文化、スポーツ・レクリエーションによる交流） <input type="checkbox"/> 百里基地の歴史・茨城空港開港の経緯などの展示 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 日本の航空・防衛産業の未来を考える場づくり</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 航空・防衛産業技術の展示・体験（IHI、ホンダ、三菱重工、トヨタなど） <input type="checkbox"/> パイロットへの道の紹介と体験（航空学校の紹介、フライトシミュレーター体験） </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 近未来の交通を知り体験する場づくり（茨城空港と空のえきそ・ら・らとの連携）</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 茨城空港につながる公共交通の充実（自動運転バス、BRTの拡充、PTPS、モビリティハブ等） <input type="checkbox"/> 茨城空港～空のえきそ・ら・らでの近未来の移動体験空間の整備（eVTOL(電動垂直離着陸機)低空移動実験、セグウェイ試乗、自動運転モビル体験など） </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 空のえきそ・ら・らとの連携による拠点強化</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 既に策定済の「空のえきそ・ら・ら拡張基本計画」に基づく取組による空港周辺の集客・交流機能の強化 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 市民・来訪者の憩いの空間、交流・宿泊の場づくり</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 宿泊・MICE(多くの集客交流が見込まれるビジネスイベント)の受け皿整備（迎賓、レセプション、空港関係者・利用者等のバックアップとしての宿泊機能） <input type="checkbox"/> 北山池のエコトープ整備（ビオトープ空間の整備） </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 防災の拠点づくり</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 災害発生時の防災対応や広域災害対応力の向上、避難場所確保、物資備蓄等への対応 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 公共交通の拠点となる場づくり</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 茨城空港の利便性向上に向けた公共交通機能の充実（交通結節機能、交通モード転換機能など） </td> </tr> </tbody> </table>	取り組み	概要	<input type="checkbox"/> 自衛隊を知り楽しむ場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 航空自衛隊を中心とする機材（航空機など）の展示 <input type="checkbox"/> 自衛隊（陸海空）の広報 <input type="checkbox"/> 自衛隊イベントとの連携 	<input type="checkbox"/> 百里基地に関連する交流を誘導し理解を深める場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 航空機騒音の体験と対策の学び（VR・音響シミュレーション体験） <input type="checkbox"/> 諸外国との訓練を機会とする交流（地域文化、スポーツ・レクリエーションによる交流） <input type="checkbox"/> 百里基地の歴史・茨城空港開港の経緯などの展示 	<input type="checkbox"/> 日本の航空・防衛産業の未来を考える場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 航空・防衛産業技術の展示・体験（IHI、ホンダ、三菱重工、トヨタなど） <input type="checkbox"/> パイロットへの道の紹介と体験（航空学校の紹介、フライトシミュレーター体験） 	<input type="checkbox"/> 近未来の交通を知り体験する場づくり（茨城空港と空のえきそ・ら・らとの連携）	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 茨城空港につながる公共交通の充実（自動運転バス、BRTの拡充、PTPS、モビリティハブ等） <input type="checkbox"/> 茨城空港～空のえきそ・ら・らでの近未来の移動体験空間の整備（eVTOL(電動垂直離着陸機)低空移動実験、セグウェイ試乗、自動運転モビル体験など） 	<input type="checkbox"/> 空のえきそ・ら・らとの連携による拠点強化	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 既に策定済の「空のえきそ・ら・ら拡張基本計画」に基づく取組による空港周辺の集客・交流機能の強化 	<input type="checkbox"/> 市民・来訪者の憩いの空間、交流・宿泊の場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 宿泊・MICE(多くの集客交流が見込まれるビジネスイベント)の受け皿整備（迎賓、レセプション、空港関係者・利用者等のバックアップとしての宿泊機能） <input type="checkbox"/> 北山池のエコトープ整備（ビオトープ空間の整備） 	<input type="checkbox"/> 防災の拠点づくり	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 災害発生時の防災対応や広域災害対応力の向上、避難場所確保、物資備蓄等への対応 	<input type="checkbox"/> 公共交通の拠点となる場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 茨城空港の利便性向上に向けた公共交通機能の充実（交通結節機能、交通モード転換機能など）
取り組み	概要																		
<input type="checkbox"/> 自衛隊を知り楽しむ場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 航空自衛隊を中心とする機材（航空機など）の展示 <input type="checkbox"/> 自衛隊（陸海空）の広報 <input type="checkbox"/> 自衛隊イベントとの連携 																		
<input type="checkbox"/> 百里基地に関連する交流を誘導し理解を深める場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 航空機騒音の体験と対策の学び（VR・音響シミュレーション体験） <input type="checkbox"/> 諸外国との訓練を機会とする交流（地域文化、スポーツ・レクリエーションによる交流） <input type="checkbox"/> 百里基地の歴史・茨城空港開港の経緯などの展示 																		
<input type="checkbox"/> 日本の航空・防衛産業の未来を考える場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 航空・防衛産業技術の展示・体験（IHI、ホンダ、三菱重工、トヨタなど） <input type="checkbox"/> パイロットへの道の紹介と体験（航空学校の紹介、フライトシミュレーター体験） 																		
<input type="checkbox"/> 近未来の交通を知り体験する場づくり（茨城空港と空のえきそ・ら・らとの連携）	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 茨城空港につながる公共交通の充実（自動運転バス、BRTの拡充、PTPS、モビリティハブ等） <input type="checkbox"/> 茨城空港～空のえきそ・ら・らでの近未来の移動体験空間の整備（eVTOL(電動垂直離着陸機)低空移動実験、セグウェイ試乗、自動運転モビル体験など） 																		
<input type="checkbox"/> 空のえきそ・ら・らとの連携による拠点強化	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 既に策定済の「空のえきそ・ら・ら拡張基本計画」に基づく取組による空港周辺の集客・交流機能の強化 																		
<input type="checkbox"/> 市民・来訪者の憩いの空間、交流・宿泊の場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 宿泊・MICE(多くの集客交流が見込まれるビジネスイベント)の受け皿整備（迎賓、レセプション、空港関係者・利用者等のバックアップとしての宿泊機能） <input type="checkbox"/> 北山池のエコトープ整備（ビオトープ空間の整備） 																		
<input type="checkbox"/> 防災の拠点づくり	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 災害発生時の防災対応や広域災害対応力の向上、避難場所確保、物資備蓄等への対応 																		
<input type="checkbox"/> 公共交通の拠点となる場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 茨城空港の利便性向上に向けた公共交通機能の充実（交通結節機能、交通モード転換機能など） 																		



名 称	②百里基地周辺国有地		整備概要							
現状と課題	百里基地周辺に地域環境に対する緩衝機能として確保されている国有地については、防衛施設の安定的運用を考慮しながら、交流促進や地域環境の向上に資する利用を図る必要があります。		■ピククルボール							
基本方針	防衛施設の安定的運用の確保を考慮しながら、地域環境や生活の向上、交流促進などに向けた整備を行います。 □小美玉温泉ことぶき整備構想に対応する活用 □公園、スポーツ、交流、農業体験、眺望の場としての活用		 							
取り組み	小美玉温泉ことぶき構想との関連性や規模等を考慮しながら、以下に示す取り組み・仕組みづくりを検討します。		■モルック							
	<table border="1" data-bbox="353 684 1442 1138"> <thead> <tr> <th data-bbox="353 684 694 730">取り組み</th> <th data-bbox="694 684 1442 730">概 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="353 730 694 1003">□小美玉温泉ことぶき整備構想に対応する周辺財産活用</td> <td data-bbox="694 730 1442 1003">□小美玉温泉ことぶきと連携して健康づくりを促進するため、高齢者やスポーツ初心者でも親しみやすい「ニュースポーツ」の環境整備を図る。 (導入するニュースポーツの例：3on3、スケートボード、ゲートボール、ピククルボール、バードゴルフ、フットゴルフ、クリケット、パデル、モルックなど)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="353 1003 694 1138">□公園、スポーツ、交流、農業体験、眺望の場としての活用</td> <td data-bbox="694 1003 1442 1138">□周辺財産の位置や規模、防衛施設の安定的運用を考慮しながら、公園として利用や、スポーツ、交流、農業体験、眺望の場としての活用を検討します。</td> </tr> </tbody> </table>	取り組み	概 要	□小美玉温泉ことぶき整備構想に対応する周辺財産活用	□小美玉温泉ことぶきと連携して健康づくりを促進するため、高齢者やスポーツ初心者でも親しみやすい「ニュースポーツ」の環境整備を図る。 (導入するニュースポーツの例：3on3、スケートボード、ゲートボール、ピククルボール、バードゴルフ、フットゴルフ、クリケット、パデル、モルックなど)	□公園、スポーツ、交流、農業体験、眺望の場としての活用	□周辺財産の位置や規模、防衛施設の安定的運用を考慮しながら、公園として利用や、スポーツ、交流、農業体験、眺望の場としての活用を検討します。			
取り組み	概 要									
□小美玉温泉ことぶき整備構想に対応する周辺財産活用	□小美玉温泉ことぶきと連携して健康づくりを促進するため、高齢者やスポーツ初心者でも親しみやすい「ニュースポーツ」の環境整備を図る。 (導入するニュースポーツの例：3on3、スケートボード、ゲートボール、ピククルボール、バードゴルフ、フットゴルフ、クリケット、パデル、モルックなど)									
□公園、スポーツ、交流、農業体験、眺望の場としての活用	□周辺財産の位置や規模、防衛施設の安定的運用を考慮しながら、公園として利用や、スポーツ、交流、農業体験、眺望の場としての活用を検討します。									

名称 ③小美玉温泉ことぶき

現状と課題 温浴施設として、市民を中心として利用されていますが、茨城空港（百里基地）や空のえきそ・ら・ら等にも近接することから、市外からの来訪者に加えて、自衛隊や訓練で来訪する諸外国関係者等の利用促進が期待されます。

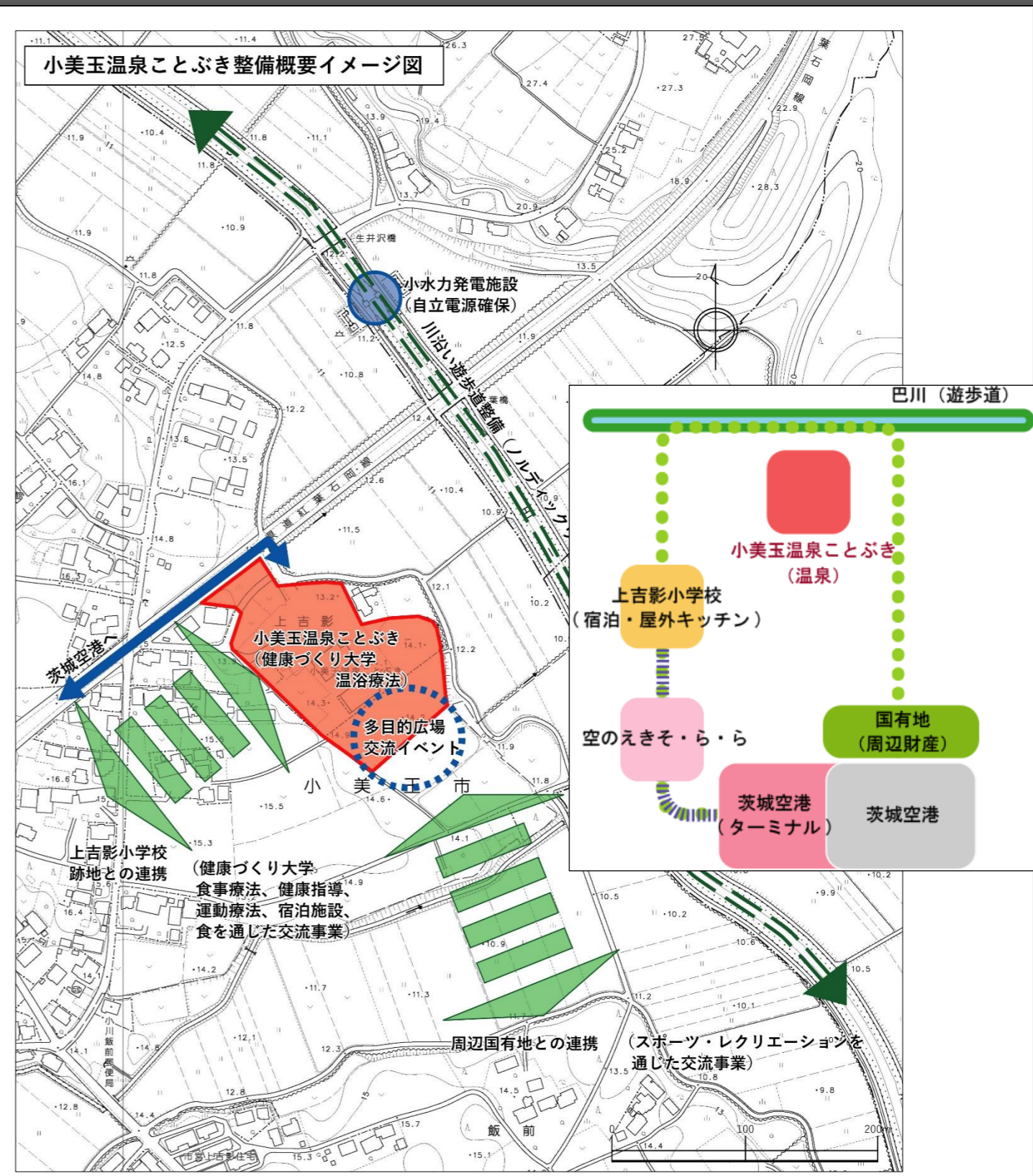
基本方針 周辺施設（上吉影小学校跡地、周辺国有地等）と連携を想定し、『都市と農村の多様な交流、平時と有事のマルチユース拠点』の形成を図ります。そのため、温泉を生かした市民向けサービスの充実を図るとともに、来訪者、自衛隊や訓練で来訪する諸外国関係者などを対象とした利用拡大につながる機能充実を図り多様な交流の創出を目指します。特に、農村地域への都市住民の誘引や、スポーツ・レクリエーションを通じた交流の場、災害時の活動拠点とするなど、本来の温泉利用にとどまらずマルチに活用できる場として整備します。

- 温泉を起点に周辺施設との連携による交流空間の創出（おもてなし、プロモーション）
- 平常時の地域住民向け利用の場（温泉を生かした健康づくり）
- 災害時の活動の場（災害対応性を持つ施設の整備）
- 小美玉温泉ことぶきと小学校跡地を連携する軸の整備
（小美玉温泉ことぶきの持つポテンシャルの活用）
- 周辺財産と連携したニュースポーツ拠点の整備

取り組み

取り組み	概要
□平常時の来訪者、自衛隊や訓練で来訪する諸外国関係者向け利用の場づくり	<ul style="list-style-type: none"> □宿泊施設誘致で宿泊と温泉利用 （上吉影小学校跡地との連携：マルチハビテーションの誘導） □屋外キッチン、BBQサイトの整備と温泉利用 （上吉影小学校跡地との連携：地場の食を通じた交流事業） □周辺農地で農業体験の場の整備と温泉利用 （農地借上げ、里親制度、収穫祭など）
□平常時の地域住民向け利用の場づくり	<ul style="list-style-type: none"> □日帰り温泉施設としての利用 （PR、知名度向上、広域集客拡大） □健康づくり大学(温泉、宿泊、食を連携したプログラム提供)の開催 （小美玉温泉ことぶき：温泉療法） （上吉影小学校跡地：宿泊、食事療法、健康指導、運動療法） （周辺国有地、巴川堤防、市道：運動療法、ニュースポーツ、ノルディックウォーキング、ジョギング、サイクリング）
□災害時の活動の場づくり	<ul style="list-style-type: none"> □宿泊施設等の誘致（上吉影小学校跡地） （レスキューホテル、避難所利用、災害病院利用） □温泉施設の避難所利用 □巴川への小水力発電設備の設置（自立電源確保）
□連携軸の整備	<ul style="list-style-type: none"> □市道 139 号線（上吉影～下吉影地区間） □巴川管理道路

整備概要



名称 ④やすらぎの里小川

現状と課題 和風建築の各種施設が特徴的な生涯学習施設として整備されましたが、施設の老朽化が進んでいます。既存ストックの活用という視点から、生涯学習施設としての成り立ちや、他の公共施設との機能分担を考慮しながら、施設機能の充実・強化を図る必要があります。そのため、『市民の学びと交流の拠点』と位置づけ、その目的に必要な機能の導入を検討する必要があります。

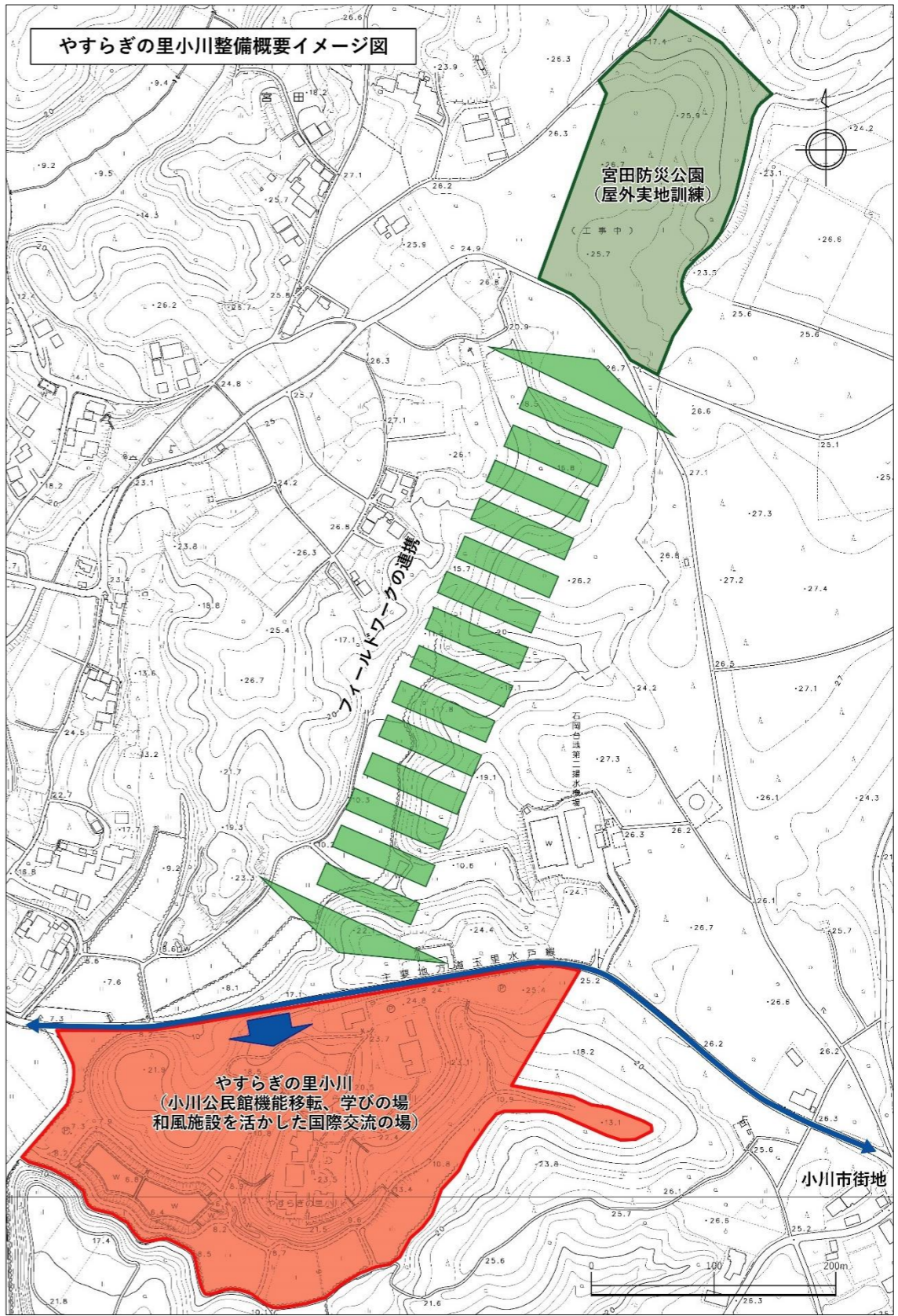
基本方針 公共施設個別施設計画に基づく施設の長寿命化や機能の集積等を図りながら、市民の学びと交流の場としての利用拡大につながるための活用を推進します。また、近接する宮田防災公園との連携により、野外研修活動の場として宮田防災公園と連携したプログラム整備も検討します。

- 市民の学びの場（学校教育を支援する機能、災害に関する座学など）
- 多様な交流の場（公民館活動の場、ダイバーシティの拠点など）
- 野外研修体験の場（宮田防災公園と連携した災害の学びなど）

取り組み

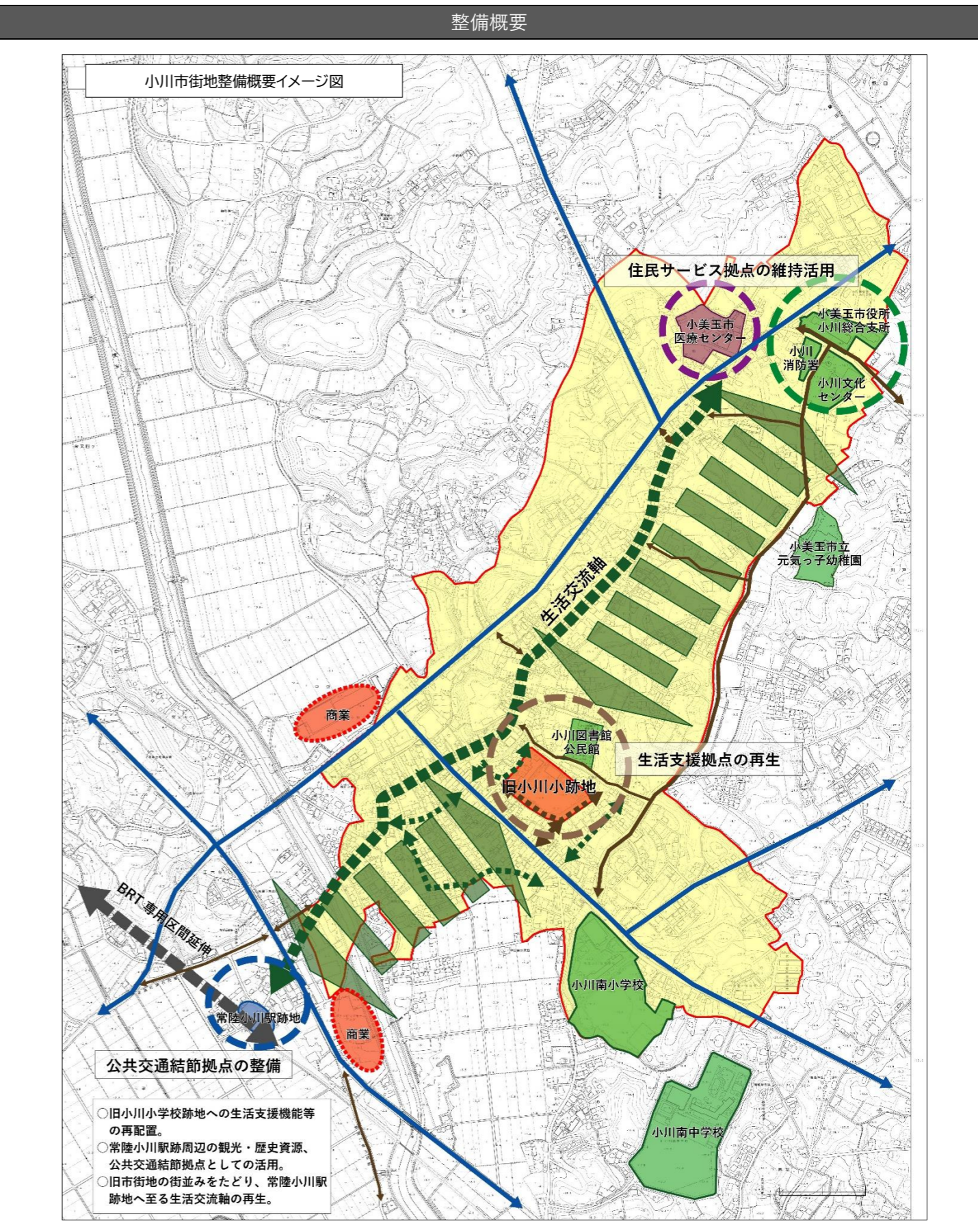
取り組み	概要
□市民の学びの場づくり	<input type="checkbox"/> 各種教育プログラムの実施 <input type="checkbox"/> 学習支援の場としての活用検討 <input type="checkbox"/> 災害対策研修の開催
□多様な交流の場づくり	<input type="checkbox"/> 小川公民館の機能移転（利用拡大方策の検討） <input type="checkbox"/> 和風施設を活かした国際交流の場
□野外研修体験の場づくり	<input type="checkbox"/> 宮田防災公園との連携による防災を学ぶ機会の提供 （自衛隊OBを交えた座学中心の学び） 〔宮田防災公園の役割〕 <ul style="list-style-type: none"> ・災害対応設備の活用と野外実地訓練の実施 ・広場のヘリポート利用と災害対応車両の待機場所としての活用 ・災害時物資輸送拠点としての利用

整備概要



名称	⑤小川市街地
現状と課題	羽鳥市街地とともに、住居系用途地域となっており、小川総合支所や小美玉市医療センターが位置するとともに、南部では旧常陸小川駅が隣接しています。市街地中央に位置する旧小川小跡地周辺と、このような拠点を連携することにより、市街地全体の活性化を図ることが期待されます。
基本方針	<p>旧小川小学校跡地周辺を「生活支援拠点」、小川市街地北部の小美玉市役所小川総合支所、小川文化センター、小美玉市医療センター等の集積を「住民サービス拠点」、南部の小川駅跡地周辺を「公共交通結節拠点」と位置付けます。さらにこれらの拠点を連携するため、旧道を「生活交流軸」として機能させることで、利便性と賑わいの創出を図ります（3つの拠点の連携を誘導するソフト戦略の検討）。</p> <p><input type="checkbox"/>常陸小川駅跡地周辺の公共交通結節拠点としての活用</p> <p><input type="checkbox"/>小川市街地の連携強化</p>

取り組み	
取り組み	概要
<input type="checkbox"/> 常陸小川駅跡地周辺の公共交通結節拠点としての活用	<input type="checkbox"/> 公共交通による茨城空港や石岡方面との連携拠点として、BRT専用区間の延伸、公共交通結節機能の充実を図ります。
<input type="checkbox"/> 小川市街地の連携強化	<input type="checkbox"/> 小川市街地旧道（市道小川 0344 号線）を、市街地内の拠点を連絡する軸として位置づけ、公共交通の収容やまちなみ景観に配慮する生活交流軸としての環境整備を図ります。 <input type="checkbox"/> 旧小川小学校跡地周辺整備と連携した動線の確保を図ります。



名称 ⑥旧小川小跡地周辺

現状と課題 小川城址、小学校跡地、素鷲神社といった地域のシンボルとなる履歴を有しています。小川地域の住民にとって重要な場所であることを認識しつつ、地域の賑わいや活力の創出を促進する機能の充実が求められます。

基本方針 これまでの土地利用の履歴や、地域にとっての価値などを考慮しながら、『小川市街地の活性化をけん引する地域交流拠点』と位置づけ、地域の交流やコミュニティ活動の活性化、賑わい創出、暮らしや産業などの活力創出、安全・安心などを提供する場とします。

- 地域交流機能（多世代交流、コミュニティ活動支援）
- 暮らしや産業などの活力創出機能（新しい働き方への対応、起業・創業支援）
- 安全・安心機能（避難場所、物資備蓄）

取り組み	概要
□地域交流拠点の整備	□小川城址、小学校跡地、素鷲神社等、地域の人々のアイデンティティとなる要素を有するシンボルとして、地域交流や郷土の学びの場となる機能導入を図ります。
□暮らしや産業などの活力創出	□「水運で栄え、産業を興してきたまち」としての要素を生かし、新しい働き方への対応や起業・創業を促進する場としての機能導入を図ります。
□安全・安心の創出	□災害時の避難場所として、避難者の収容、備蓄などの機能を導入します。

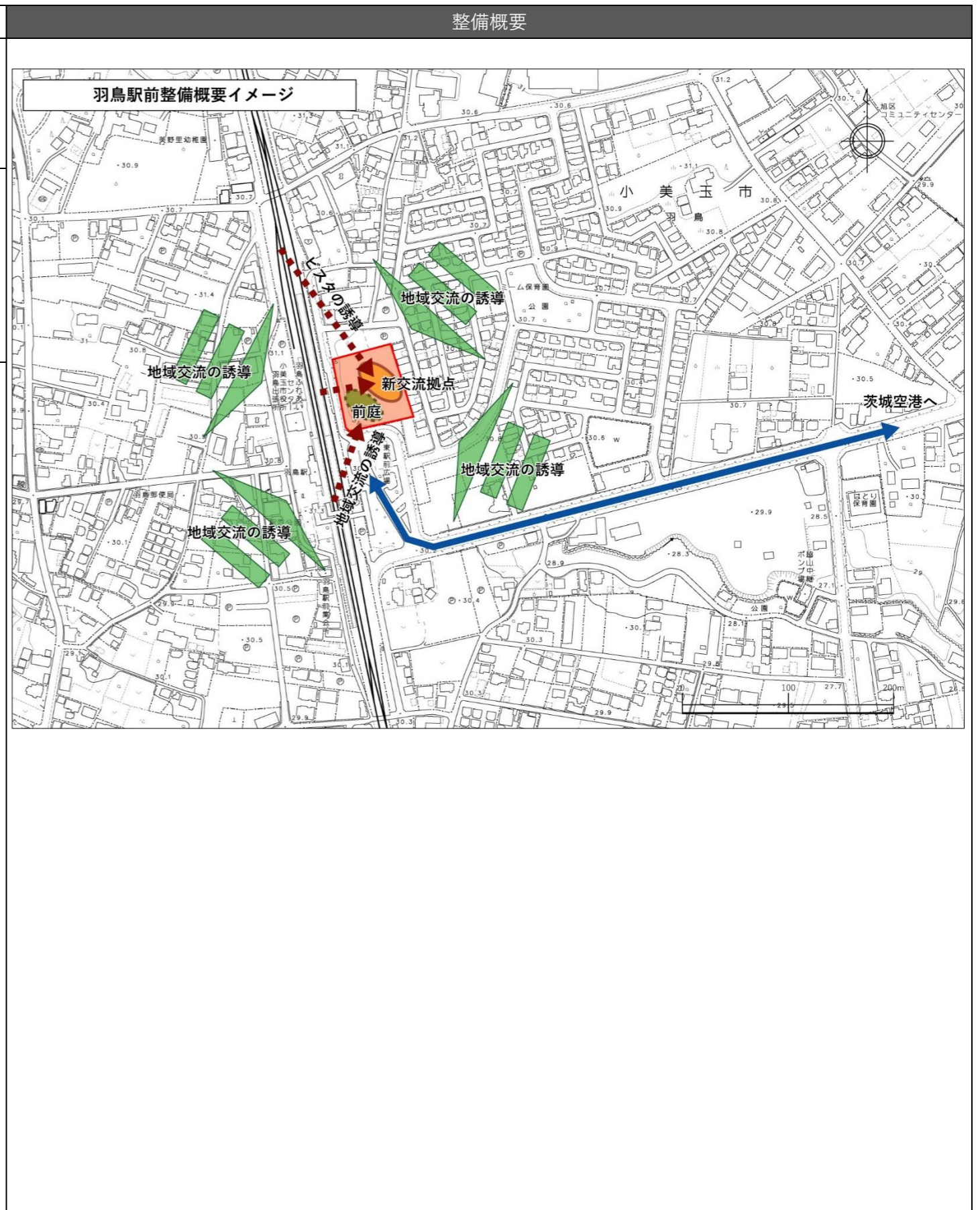
整備概要



- 校庭は交流ゾーンと位置づけ遊具・健康器具などの公園器具を設置するなど公園として整備し、散策等を通して交流できる空間を計画。また、災害に備えた防災ベンチ（非常時にはかまど）を設置する計画。
- 記念碑付近を歴史ゾーンとし、サインを設け小川の歴史を学ぶことができる空間を計画。
- 体育館は校庭の有効面積を確保するため除却し、校庭を有効活用する。
- 跡地に（仮称）生涯学習交流施設（約400㎡）を整備し、会合・学習・サークル活動等で活用できる空間を計画。
- 図書館・資料館前は、デッキと芝生の屋外テラスを整備し、（仮称）生涯学習交流施設と一体的に活用する。
- 旧幼稚園跡地に第1駐車場、校舎跡地に第2駐車場、防衛協会跡地に第3駐車場を整備。
- アクセス道路の整備。

※1：外灯・ベンチは位置が分かりやすいよう実物より大きく表現しています。
 ※2：本プラン案は、主な機能を具体的に配置するためのイメージでこの案を確定するものではありません。
 また建築基準法、消防法等関係法令等に準じて変わることがあります。

名称	⑦JR 羽鳥駅前									
現状と課題	JR 羽鳥駅東口駅前広場に隣接する市有地の活用が求められており、近傍の公共施設の統廃合と連携しながら、公共サービスをはじめとする利便機能の集約化を図るとともに、本市への玄関口としての機能充実が求められます。そのため、新交流拠点の羽鳥駅前地区は、『茨城空港周辺へのゲート、自衛隊広報支援、市民交流拠点』と位置づけ、必要となる機能の導入を検討します。									
基本方針	JR 常磐線羽鳥駅前という立地を生かし、美野里地区の生涯学習施設や社会教育施設の集約による地域住民の生活利便性の向上に資する機能導入を図るとともに、市外からの来訪者に向けた茨城空港や百里基地、周辺における施設や様々な活動の発信を行うことにより、本市の玄関口として百里飛行場前地区への来訪を誘導します。 <input type="checkbox"/> 駅前交流拠点としての場 <input type="checkbox"/> 自衛隊との共生・交流を促進する場 <input type="checkbox"/> 百里飛行場前地区等のサテライトとしての場									
取り組み	<table border="1"> <thead> <tr> <th>取り組み</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/>駅前交流拠点としての場 (既存公共施設の集約化・効率化など) づくり</td> <td> <input type="checkbox"/>図書館機能、生涯学習、集会所、会議室の設置 <input type="checkbox"/>カフェ、コンビニの誘致 <input type="checkbox"/>茨城空港利用者支援機能整備 (荷物一時預かり、空港シャトルバス案内、タクシー依頼、航空チケット予約・販売など) <input type="checkbox"/>観光案内所の配置 <input type="checkbox"/>行政窓口、公民館、多目的ホール(投票所利用含む)の設置 <input type="checkbox"/>防災拠点となる施設整備(地下備蓄室) </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>自衛隊との共生・交流を促進する場</td> <td> <input type="checkbox"/>自衛隊(陸海空)の広報 <input type="checkbox"/>音の体験施設のPR(百里飛行場前地区の羽鳥サテライト:基地の音、都会の騒音、自然災害の音) <input type="checkbox"/>常設映像展示・パネル展示 (自衛隊の装備、活動、訓練、全国の基地) <input type="checkbox"/>自衛隊イベントとの連携 (音楽隊コンサート、各地のイベント中継) <input type="checkbox"/>自衛隊活動のセミナー開催(災害対策、領土防衛) </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>百里飛行場前地区等のサテライトになる場づくり</td> <td> <input type="checkbox"/>茨城空港周辺施設の紹介 <input type="checkbox"/>空のえきそ・ら・らの取扱商品のPR・販売 <input type="checkbox"/>地域特産品の販売 </td> </tr> </tbody> </table>	取り組み	概要	<input type="checkbox"/> 駅前交流拠点としての場 (既存公共施設の集約化・効率化など) づくり	<input type="checkbox"/> 図書館機能、生涯学習、集会所、会議室の設置 <input type="checkbox"/> カフェ、コンビニの誘致 <input type="checkbox"/> 茨城空港利用者支援機能整備 (荷物一時預かり、空港シャトルバス案内、タクシー依頼、航空チケット予約・販売など) <input type="checkbox"/> 観光案内所の配置 <input type="checkbox"/> 行政窓口、公民館、多目的ホール(投票所利用含む)の設置 <input type="checkbox"/> 防災拠点となる施設整備(地下備蓄室)	<input type="checkbox"/> 自衛隊との共生・交流を促進する場	<input type="checkbox"/> 自衛隊(陸海空)の広報 <input type="checkbox"/> 音の体験施設のPR(百里飛行場前地区の羽鳥サテライト:基地の音、都会の騒音、自然災害の音) <input type="checkbox"/> 常設映像展示・パネル展示 (自衛隊の装備、活動、訓練、全国の基地) <input type="checkbox"/> 自衛隊イベントとの連携 (音楽隊コンサート、各地のイベント中継) <input type="checkbox"/> 自衛隊活動のセミナー開催(災害対策、領土防衛)	<input type="checkbox"/> 百里飛行場前地区等のサテライトになる場づくり	<input type="checkbox"/> 茨城空港周辺施設の紹介 <input type="checkbox"/> 空のえきそ・ら・らの取扱商品のPR・販売 <input type="checkbox"/> 地域特産品の販売	
取り組み	概要									
<input type="checkbox"/> 駅前交流拠点としての場 (既存公共施設の集約化・効率化など) づくり	<input type="checkbox"/> 図書館機能、生涯学習、集会所、会議室の設置 <input type="checkbox"/> カフェ、コンビニの誘致 <input type="checkbox"/> 茨城空港利用者支援機能整備 (荷物一時預かり、空港シャトルバス案内、タクシー依頼、航空チケット予約・販売など) <input type="checkbox"/> 観光案内所の配置 <input type="checkbox"/> 行政窓口、公民館、多目的ホール(投票所利用含む)の設置 <input type="checkbox"/> 防災拠点となる施設整備(地下備蓄室)									
<input type="checkbox"/> 自衛隊との共生・交流を促進する場	<input type="checkbox"/> 自衛隊(陸海空)の広報 <input type="checkbox"/> 音の体験施設のPR(百里飛行場前地区の羽鳥サテライト:基地の音、都会の騒音、自然災害の音) <input type="checkbox"/> 常設映像展示・パネル展示 (自衛隊の装備、活動、訓練、全国の基地) <input type="checkbox"/> 自衛隊イベントとの連携 (音楽隊コンサート、各地のイベント中継) <input type="checkbox"/> 自衛隊活動のセミナー開催(災害対策、領土防衛)									
<input type="checkbox"/> 百里飛行場前地区等のサテライトになる場づくり	<input type="checkbox"/> 茨城空港周辺施設の紹介 <input type="checkbox"/> 空のえきそ・ら・らの取扱商品のPR・販売 <input type="checkbox"/> 地域特産品の販売									



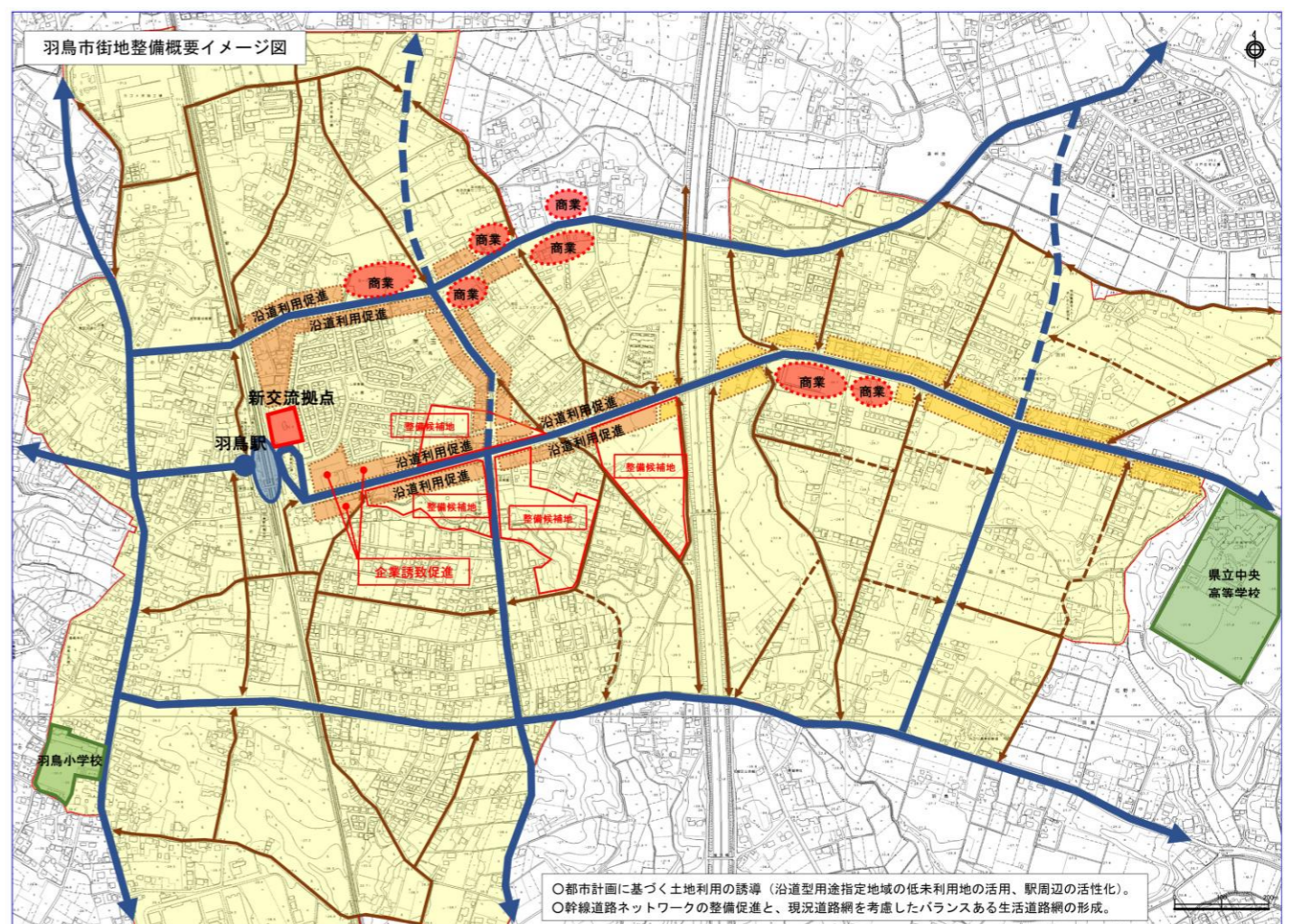
名称 ⑧羽鳥市街地

現状と課題 JR羽鳥駅を中心に形成される市街地で、本市の中では人口増加がみられる地域となっています。一方で、樺通り沿道を始めとしてまとまった低未利用地も存在しています。
そのため、今後も居住ニーズに対応しながら良好な市街地形成を促進に向け、JR羽鳥駅前の整備と連携しながら、市街地環境の整備を図る必要があります。

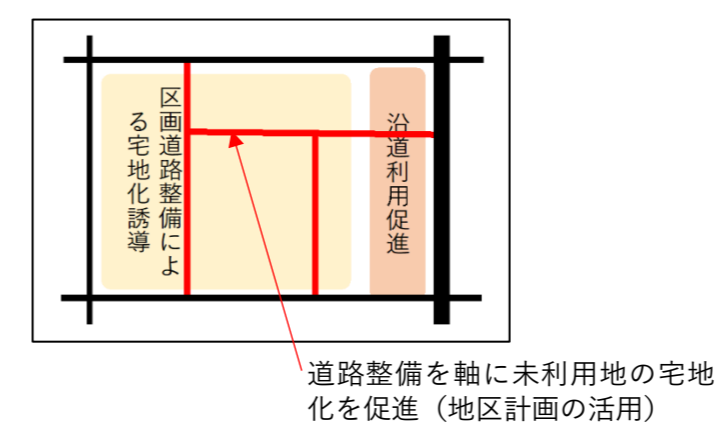
基本方針 羽鳥駅前地区の整備効果を生かし、羽鳥駅を中心とする市域西部の居住の受け皿となる市街地環境の整備を目指し、市街地の主要部分における道路ネットワークの整備促進と適正な土地利用の誘導を図ります。
□駅を中心とする市街地としての土地利用の誘導
□市街地幹線道路の整備

取り組み	概要
□駅を中心とする市街地としての土地利用の誘導	□JR羽鳥駅を起点として、日常生活の利便性を確保するため、都市計画道路や既存幹線道路等の主な沿道型用途地域の未利用地の活用を図る。 □公共施設の適正な配置を実現するため既存施設の集約化を図る。
□市街地幹線道路の整備	□都市計画道路を軸として、機能的な市街地環境を創出するため、補助幹線道路ネットワークの整備促進と、現況道路網を考慮したバランスある生活道路網を形成する。

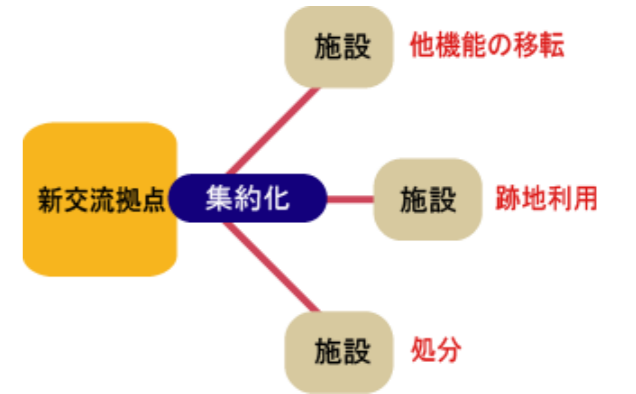
整備概要



図一 市街地幹線道路整備による宅地化促進のイメージ



図二 公共施設の集約と利活用方策の検討



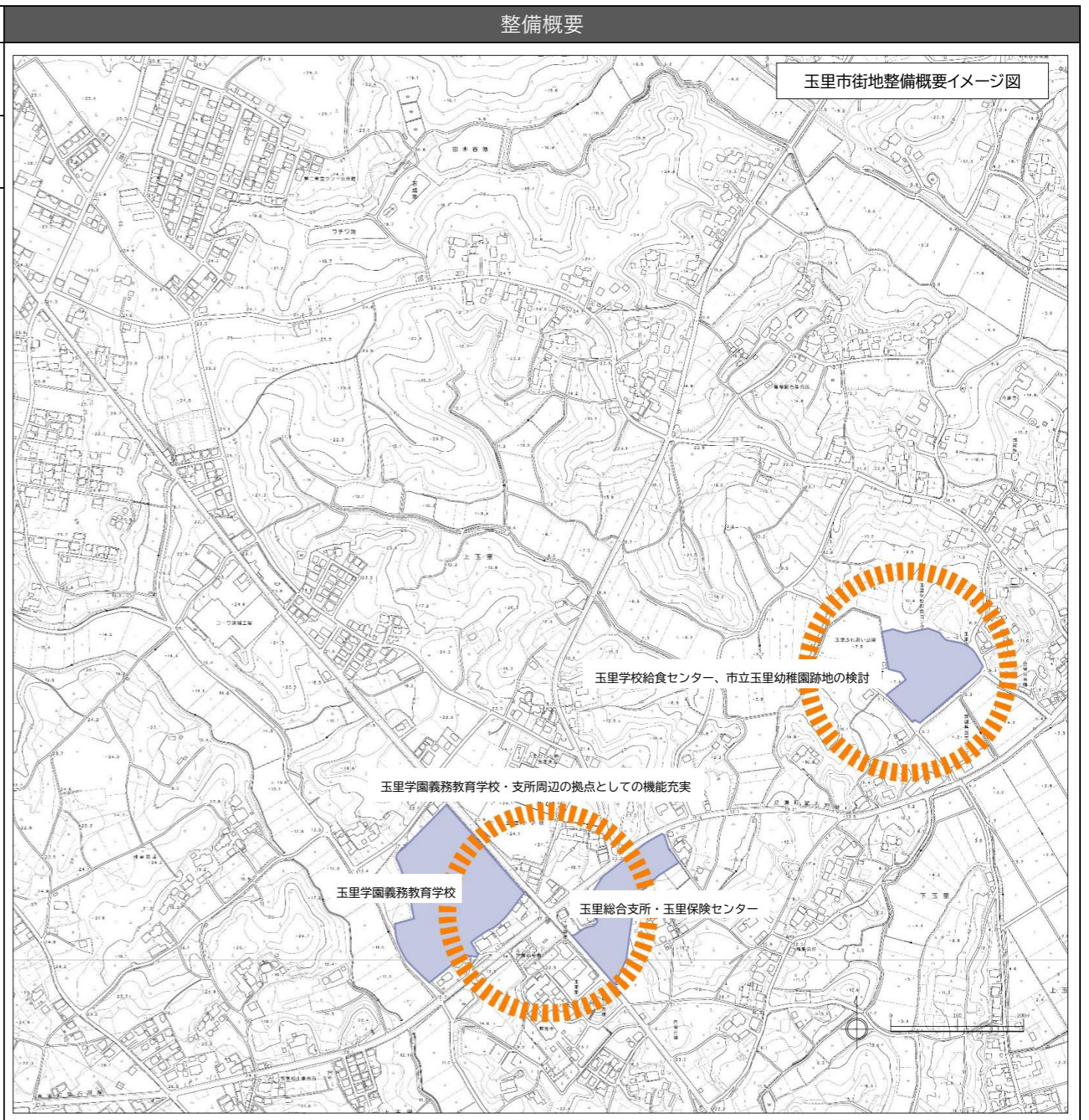
○駅前での新交流拠点で、周辺の公共施設の集約化を図ることを想定（既存施設の統廃合検討）。

名 称		⑨新しい拠点		整備概要					
現状と課題	<p>国道6号バイパスは市中央部を縦断することが想定されますが、本路線により本市の都市構造において新しい軸が形成されます。また、今後の人口減少や高齢化に対応したまちづくりが求められることから、国道6号バイパス整備を契機として、多様な機能が集約された拠点形成を目指すことが期待されます。</p>			<p>整備概要</p> <p>図－新しい拠点の概念</p>					
基本方針	<p>国道6号バイパスと連携しながら、本市へのエントランスや市域東西の連携確保、行政や市民サービスの拠点となる機能の充実を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> エントランス機能 <input type="checkbox"/> 行政・市民サービス機能 								
取り組み	<p>公共施設の適正化については、前述の基本方針に基づき以下に示す取り組み・仕組みづくりを考えます。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>取り組み</th> <th>概 要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> エントランス機能の整備</td> <td><input type="checkbox"/> 本市への玄関口としての情報提供、シンボル機能に加え、本構想で位置づける「羽鳥駅と百里飛行場の軸〔賑わい・交流〕」と連携しながら、交通結節機能、公共交通機能の充実を図ります。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 行政・市民サービス機能の整備</td> <td><input type="checkbox"/> 日常生活に必要な各種機能の集約を図るとともに、市民の交流や協働の場づくりを検討します。</td> </tr> </tbody> </table>					取り組み	概 要	<input type="checkbox"/> エントランス機能の整備	<input type="checkbox"/> 本市への玄関口としての情報提供、シンボル機能に加え、本構想で位置づける「羽鳥駅と百里飛行場の軸〔賑わい・交流〕」と連携しながら、交通結節機能、公共交通機能の充実を図ります。
取り組み	概 要								
<input type="checkbox"/> エントランス機能の整備	<input type="checkbox"/> 本市への玄関口としての情報提供、シンボル機能に加え、本構想で位置づける「羽鳥駅と百里飛行場の軸〔賑わい・交流〕」と連携しながら、交通結節機能、公共交通機能の充実を図ります。								
<input type="checkbox"/> 行政・市民サービス機能の整備	<input type="checkbox"/> 日常生活に必要な各種機能の集約を図るとともに、市民の交流や協働の場づくりを検討します。								

名称	⑩玉里市街地
現状と課題	行政施設や教育施設の統廃合により、従来有していた拠点としての機能が低下している。また、公共施設の跡地の利活用を含め、公園のあり方等について検討する必要があります。
基本方針	玉里地区の拠点となるエリアとして、既存の施設の集積を生かしつつ、教育施設が位置する地区として、地区全体の環境整備が期待される。

地域住民との連携・協働を進めながら、広場などのオープンスペース整備を進める。

取り組み	概要
□地域拠点の魅力向上	□玉里学園義務教育学校、玉里支所などを中心に、公共施設の跡地利用の検討、利便性や環境整備等について検討し、地域拠点としての魅力の向上を図る
□公園の整備	□ふれあい公園に隣接した公共施設の跡地の利活用を含め、公園のあり方等について検討する。



名称 ①大井戸湖岸公園

現状と課題 大井戸湖岸公園は、霞ヶ浦に面し、つくば霞ヶ浦りんりんロードに隣接しており、現在、キャンプ場、花火大会会場など平場と水辺を生かす活用が検討されています。そのため、霞ヶ浦沿岸に立地するという特性を生かしながら、水辺のレクリエーション拠点としての機能充実、アクセス性の向上が求められます。

基本方針 つくば霞ヶ浦りんりんロードに面することから、『つくばりんりんロード沿いのアウトドア活動拠点』の形成に向けた施設整備、機能導入を検討します。また、施設の充実・魅力と合わせ、利用促進に向けた認知度向上、アクセス道路整備に取り組みます。

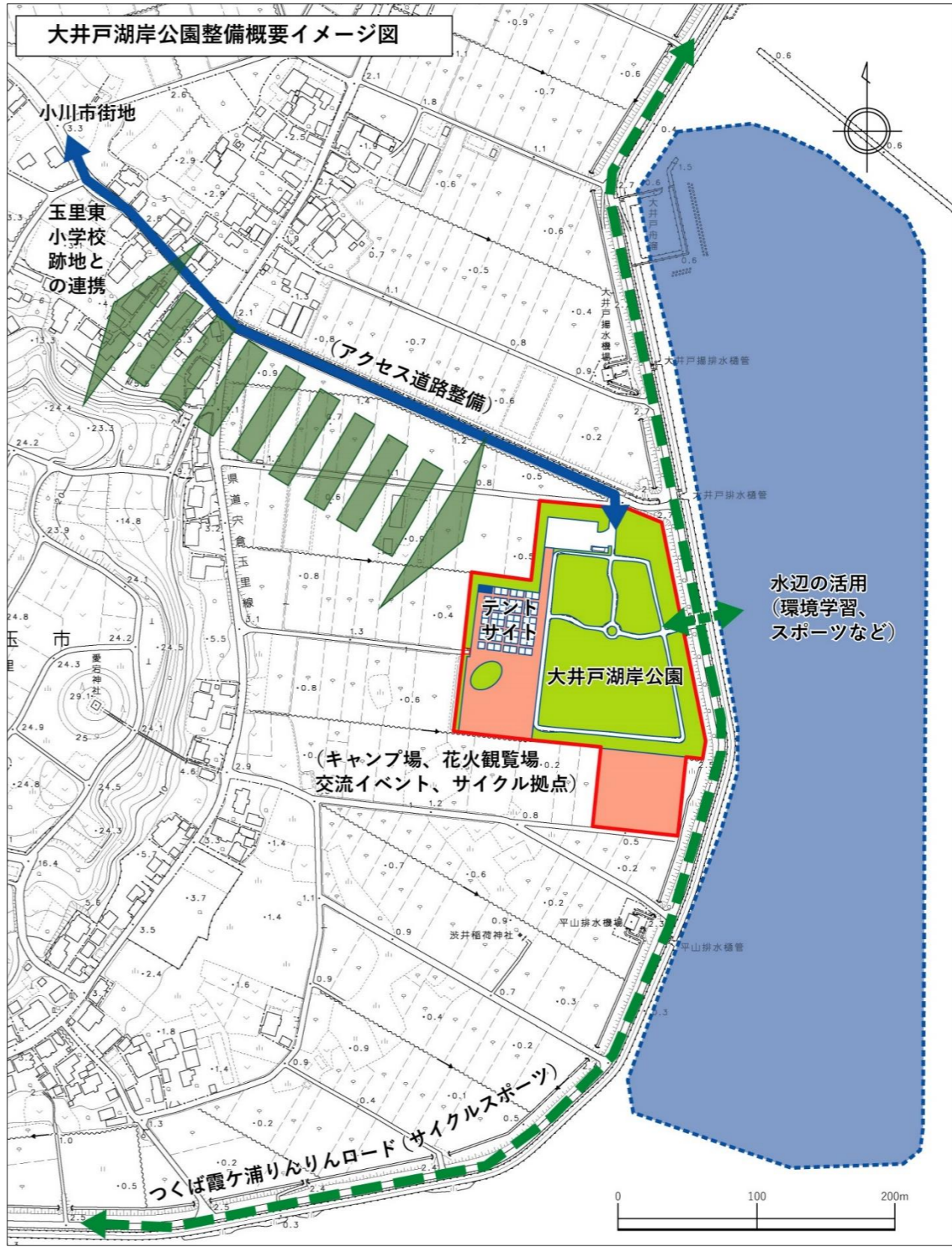
また、周辺に玉里東小学校跡地が位置することから、キャンプ施設利用者に対する支援、地域交流の場としての利用についても検討します。

- キャンプ場としての機能拡充と利用拡大の場
- 多様なイベント会場の場
- サイクルスポーツ、水辺の活用拠点の場
- 霞ヶ浦と地域の連携を創出する場

取り組み

取り組み	概要
<input type="checkbox"/> キャンプ場としての機能拡充	<input type="checkbox"/> 利用しやすい野営環境の整備（水場、テントサイトなど） <input type="checkbox"/> 安全管理体制の構築 <input type="checkbox"/> 域外利用者へのPR <input type="checkbox"/> 民間事業者による管理の導入 <input type="checkbox"/> 玉里東小学校跡地との連携強化
<input type="checkbox"/> 多様なイベント開催の場の整備	<input type="checkbox"/> 花火大会の観覧場所としての活用 <input type="checkbox"/> 訓練で来訪する諸外国関係者を交えたイベント開催
<input type="checkbox"/> サイクルスポーツ、水辺の活用拠点の場の整備	<input type="checkbox"/> サイクルステーションの配置 <input type="checkbox"/> 水辺環境学習会の開催 <input type="checkbox"/> ウォータースポーツの拠点整備
<input type="checkbox"/> 霞ヶ浦と地域の連携を創出する場の整備	<input type="checkbox"/> アクセス道路整備 <input type="checkbox"/> イベント利用環境の整備

整備概要



名称 ⑫権現山公園

現状と課題 霞ヶ浦沿岸の台地上に位置し、生涯学習センターや、多くの文化財（古墳）が分布しています。このような既存資源の活用を前提に、霞ヶ浦の眺望スポットとして、歴史や景観を生かした拠点形成が期待されます。

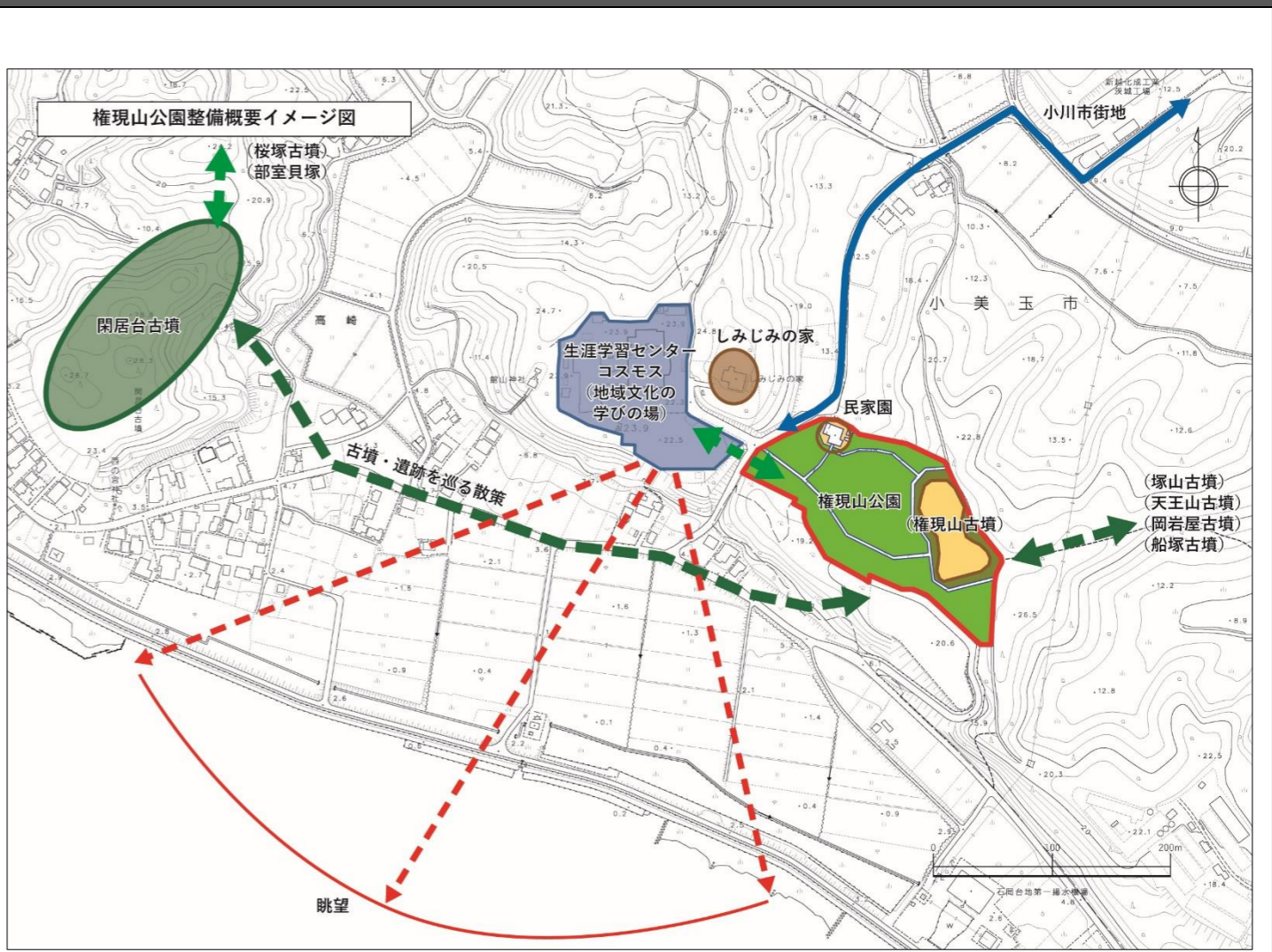
基本方針 小美玉市玉里地区の中部、霞ヶ浦を望む丘陵上に位置する古墳公園ですが、公園機能は未整備となっています。隣接地に小美玉市生涯学習センターコスモス、コミュニティ施設「しみじみの家」、民家園（旧小松家）があり、これらとの連携により学びと交流の場としての活用を図ります。また周辺には多くの古墳・遺跡が点在していることから、これらを巡る野外プログラムを検討します。

- 古墳・遺跡群を巡る活動の場
- 生涯学習センターコスモスの活用
- 災害対応の利用

取り組み

取り組み	概要
□古墳・遺跡群を巡る活動の場の整備	□小中学生を対象とするオリエンテーリングなどの野外学習プログラムの整備 □安全な林間散策コースの整備とPR □景観を生かしたグランピング施設等の誘致
□生涯学習センターコスモスの活用	□地域の文化財等の情報展示・解説の充実 □地形を活かした霞ヶ浦への展望施設の整備 □「しみじみの家」、「民家園」とともに研修交流施設としての利用拡大
□災害対応の利用	□地域の災害対策研修の実施（自衛隊との連携交流） □災害時住民避難受け入れ体制の整備

整備概要



名 称	⑬公共施設適正化	整備概要	
現状と課題	現在の公共施設は、合併時の施設が基本となっていますが、施設の老朽化や市域東西で人口動態が大きく異なることから、公共施設のあり方と均衡ある地域づくりに向けた取り組みが求められています。	(参考図) 平成 27 年 (2015) 【実績値】	
基本方針	公共施設（行政施設、教育施設、消防施設）について、公共施設総合管理計画や当該施設の状況、本市の将来人口の動向などを考慮しつつ、行政サービスの均質化に向けた公共施設のあり方を検討します。	平成 52 年 (2040) 【推計値】	
取り組み	<p>公共施設の適正化については、前述の基本方針に基づき以下に示す基本的方向を考えます。</p> <p>【基本的方向】</p> <ul style="list-style-type: none"> □上吉影小学校跡地：小美玉温泉ことぶきと連携した「宿泊、野外活動拠点」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊施設 ・ 屋外調理施設 ・ 小美玉温泉ことぶきと連携した健康づくり大学機能 □下吉影小学校跡地：地域が運営に関わることを意識した民間による活用を目指すとともに、更地となっている旧下吉影小学校跡地の利用も検討。 □野田小学校跡地：大規模用地であることを考慮した、公的利用や官民連携利用を検討 □羽鳥地区の公共施設：駅前拠点施設の整備に合わせた公共施設の適正化方向の検討 □玉里東小学校跡地：校舎撤去後の利用について、大井戸湖岸公園との連携を意識しながら、地域や災害時の利用を検討。 		